

未来ICTシンポジウム

～超スマート社会に向けたICTデバイス技術の新展開～

サイバー空間と現実空間が融合する超スマート社会の実現に向けて、物理層におけるICTデバイスの性能限界の打破や新規な機能を有するICTデバイスの創出が重要な課題となっています。本シンポジウムでは、これまでにない超高速・大容量かつ低消費電力の光通信やミリ波・テラヘルツ波無線通信、高度センシング、高度光・電子制御等を実現する革新的ICTデバイス技術の創出を目指し、有機材料や無機材料等の異種材料の融合、フォトニクスやエレクトロニクス等の異分野技術の融合、新しい原理の利用といったコンセプトのもと、従来技術の延長だけでは達成が困難な技術革新に取り組む最新の研究を紹介するとともに将来展望を議論します。

日時

2018年 2月14日(水) | 13:00~17:00
(12:30開場)

第17回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 (nano tech 2018) と同時開催

東京ビッグサイト会議棟6F (605会議室)

参加費無料
定員100名

事前参加登録はこちらのwebサイトからご登録ください

<http://www.hip-ltd.co.jp/miraiict/>

PROGRAM

主催者挨拶 細川 瑞彦 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 理事)

13:00~13:10

挨拶・研究所紹介 竇迫 巖 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 未来ICT研究所 研究所長)

13:10~13:20

基調講演 納富 雅也 (東京工業大学 理学院 教授 / NTT物性科学基礎研究所 上席特別研究員)

13:20~14:00

「集積ナノフォトニクス研究の進展と将来展望」

講演 1 竹井 邦晴 (大阪府立大学 大学院工学研究科 准教授)

14:00~14:25

「人社会への融和を目指したフレキシブルデバイスシート」

講演 2 大友 明 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 未来ICT研究所 上席研究員)

14:25~14:50

「有機EOポリマーを用いた超高速光制御デバイス」

講演 3 村田 博司 (大阪大学 大学院基礎工学研究科 准教授)

14:50~15:15

「EO効果を用いたミリ波検出デバイス」

休憩

講演 4 原 紳介 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 未来ICT研究所 主任研究員)

15:35~16:00

「シリコンCMOS集積回路による300GHz帯無線送受信機」

講演 5 仙場 浩一 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 未来ICT研究所 上席研究員)

16:00~16:25

「超伝導人工原子とマイクロ波真空ゆらぎからなる新しい「分子」状態」

講演 6 堺 俊克 (NHK放送技術研究所)

16:25~16:50

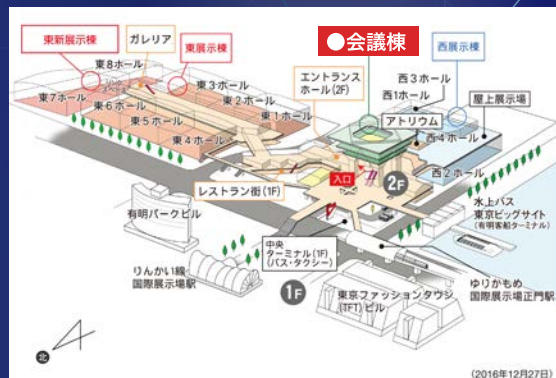
「有機・無機材料を積層した撮像デバイス」

総括 久保田 徹 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 未来ICT研究所 副研究所長)

16:50~17:00

※出演者等については予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

ACCESS MAP



東京ビッグサイト 会議棟
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1